

保育所における自己点検・自己評価

みらいのもりい保育園(令和5年3月31日)

記入者
園長 川上美智子

(川上)

※ 今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

〔記入方法〕

- ・ A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。
- ・ 項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A : たいへんよい
B : よい
C : 一部検討を要する
D : 改善を要する

項目

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				園の理念に基づき目標を果たそうと全職員が努力を重ねている。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				全体計画に基づき指導計画が各クラスで作成されている。 保育の工夫が随所に見られ、保育の改善に努めている。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行ですか。	○				1日の流れが固定され、活動しやすい内容となっている。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				コロナ禍で行事の実施が困難な時期もあったが、最大限子どもと保護者のために実施できたら。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動をしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				職務分掌の検討を重ね、副主任、専門リーダーの動きも定着し、よく団結している。
	(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
	(3)職員の配置は適材・適所か。		○			
	(4)係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
経営運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				全職員(含ペド看護員)が全体会議に出席し、情報を共有を図っている。その他の会議も効率よく進められている。
	(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しまことなく施設の運営に関わっているか。		○			
	(3)打合せ回数、時間、内容は適切か。		○			
組織・年齢別・クラス	(1)年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				クラス運営は保育の要であるが、日々工夫を重ね、反省すべき点は反省し、改善に努めている。
	(2)年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
	(3)年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
	(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
	(5)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	○				
	(6)評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○				
保健・安全	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				看護師(常勤、パート各1名)を配置し、感染予防に努めている。安全第一として、怪我のないよう努めている。
	(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
	(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
	(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○				
研究・研修	(1)研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○			希望する保育士には積極的に研修をさせている。次年度は、全員をキャリアアップ研修に参加させる予定である。
	(2)所内研修の計画・運営は適切か。	○				
	(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○				
	(4)研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○				
所外研究・研修	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○				研究会結果を全員の前で発表する場を設けている。
	(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				個人情報は厳重に管理している。写真や動画も保護者の承諾を得られた子のみHP等に掲載している。
	(2)公文書収受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行ってい るか。	○				定期的に園庭及び道具の点検や教材庫、用具、道具の点検を行っている。防犯カメラを園庭、門、保育室内に設置している。SECOMによる防犯管理も利用。
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				法人全体で管理している。
施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。			○		コロナ禍で施設間交流や、外部者との交流は難しかったが、小学校との保小連携の交流は続けてきた。
	(2)他施設等の児童生徒と触れ合う中で、(乳)児童が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。			○		
	(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
	(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
	(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
家庭と地域社会	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。				○	コロナ感染予防のため、保護者参観は1回3日以内に行えなかつた。次年度は年間2回行う予定である。年長児は、地域の研究機関等の見学を行つて。
	(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
	(3)(乳)児童の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
	(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
開かれかれた保育所づくりの評価	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。				○	コロナ禍で、外部への開放行為を行わなかつた。一時保育(余剰型)で子育て講座を少しづつ行つた。
	(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。				○	
	(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
	(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
	(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				施設の情報はHPで、園の毎月の様子は園便りで、毎日の様子は保護者限定であるが写真配信している。
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。				○	
	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	毎年3月に保護者にアンケート調査を実施し意見聴取したものをもとに、改善に努めている。
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○				